

接頭辞 RE の機能

—— rentrer の場合——

佐々木 香 理

1. はじめに

rentrer は家や会社など、生活や活動の拠点となる場所に出先から戻ることを表すと説明されることが多い⁽¹⁾。しかし、実例を観察すると⁽²⁾、それ以外の場所の表現を従える例がしばしば認められる。

(1) (発話者は写真家で、高級ブランド品を追い求める日本人女性の姿をブランド店で撮影している。)

Ici, la femme qui *rentre* dans la boutique de luxe ne vient pas pour regarder, mais pour acheter. (*Agence France Presse*, 2005/11/8)

従来、*entrer* の使用が通例であった場面で *rentrer* を用いることを問題視する文法家もいるが⁽³⁾、*rentrer* の使用範囲の拡大傾向が続いていることが言語実態の観察から認められる。また、*rentrer* を用いる際の状況・文脈にはいくつかの特徴が確認できる。実際、多くの辞書が *rentrer* には様々な表現効果が伴うと指摘している。例えば、『白水社ラルース仏和辞典』は「*entrer* よりも強く「思い切って、無理に入る」というような含みを伴うこともある。」(p.979) とし、『*Le Robert, Dictionnaire culturel en langue française*』も同様の趣旨の定義を示し(2)の *rentrer* を *entrer* の「強意的用法 (*emploi «intensif»*)」であるとしている。

(2) Sa voiture *est rentrée* dans un arbre. (*Le Robert*, Tome 4: 163)

接頭辞 RE の本質的機能を解明する研究の一環として⁽⁴⁾、本研究では *rentrer* の様々な用法に共通する RE の機能を明らかにする。そのために、第2章で

佐々木 (2016 b) に基づき RE の付加に関する仮説を提示する。次に第 3 章で *rentrer* の実例を分析し、使用条件を探るとともに、第 2 章で提案した仮説の妥当性を確認する。

以下では、事行主体を X, 移動先を Z, そして「X が Z にいること・あること」を X-Z でそれぞれ示す。そして *rentrer* が自動詞構文で用いられる〈X *rentrer* Prép Z〉という形式の発話を主な考察対象とする⁽⁵⁾。

2. 発話者の視点と RE の付加

佐々木 (2016 b) では、対象移動動詞 *ramener*, *rapporter*, *remmener*, *remporter* を考察対象とし、発話者が次のような発話操作を行う際に RE を動詞に付加することを明らかにした。

- (3) a. 発話者は「事行対象 (Y) が Z にいること・あること」について「元の・本来のあり方」や「妥当なあり方」という評価をあらかじめしている⁽⁶⁾。そして、移動前・移行前のあり方を「仮のあり方」として捉えている。
- b. X が Y を Z に移すことによって「元の・本来のあり方」や「妥当なあり方」が実現することを表すために RE を動詞に付加する。

また、*ramener/rapporter* と比べ *remmener/remporter* の使用頻度が低い事実を指摘し、その要因を明らかにする中で、RE の付加が発話者の視点と関わっていることを指摘した。具体的には、*emmenner/emporter* を用いる場合、発話者は出発点 (Z') に視点を置き、そこから Y を離脱させることを表そうとしている。一方、RE を動詞に付加する場合、発話者は Z に視点を置く。そのように *emmenner/emporter* の語義と RE の付加が両立しがたいことが *remmener/remporter* の使用頻度が低い理由であることを指摘した。

さらに、実例を観察すると、*rentrer* についても RE の付加は発話者の視点と関わっていることがわかる。実際、(4) の *rentrer* は発話者が Z に視点を置き、そこに X が移ることを表す状況・文脈で用いられている。(4 a) は *ici* や

venir の使用からわかるように、発話者は日本のブランド店 (Z) に視点を置き、そこに女性客 (X) が移ることを述べている。また (4 b) では発話者の自宅 (Z) に友人達 (X) が移ることを、(4 c) では発話者のいる図書室 (Z) に男子学生 (X) が移ることを、それぞれ *rentrer* が表している。さらに (4 d) は文脈による動機から *rentrer* を用いる例である。前半部で娘の病室の描写やそこでの発話者達の様子を語っていることから、発話者が無菌病棟や娘の病室 (Z) に視点を置いていることが読み取れる。そして、そこに on (X) が移ることを *rentrer* で表している。

(4) a. Ici, la femme qui *rentre* dans la boutique de luxe ne vient pas pour regarder, mais pour acheter. (=1)

b. (アパルトマンを追い出された Fred と Antoine が Nicolas の家を訪ねて来た場面)

Nicolas : Ben qu'est-ce qui vous est arrivé?

Fred : On s'est fait virer de l'appart.

Nicolas : Ah les salauds qu'est-ce qu'ils vous ont mis? Bon, ben *rentrez*. Faut porter plainte! Ils n'ont pas le droit de vous frapper comme ça. (SALVADORI, P. et HAREL, P. 1996, *Les Apprentis*)

c. Petite bibliothèque de français à la faculté. Je travaillais à côté de L., une camarade de cours. On échangeait parfois des remarques à voix feutrée. Un étudiant venait de *rentrer* dans la salle et L. m'a fait remarquer en souriant le manège d'une étudiante qui «prenait la pose» à l'approche du jeune homme (. . .) (PICQUET, P. 2013, *Sans illustration* : 90)

d. (娘が癌の治療のために無菌病棟に移ることになり)

Elle va rester dans cette chambre un peu plus longtemps que d'ordinaire.

(. . .) Rien de ce qui viendra de l'extérieur ne pourra pénétrer dans sa chambre. Tout doit être absolument propre, nettoyé à l'aide de produits spéciaux qui débarrassent les objets de leurs microbes éventuels. (. . .)

Dans les premiers temps, en attendant que la greffe ait permis à son

sang de se constituer, nous porterons même des masques. Elle aura le droit de se moquer un peu de nous, car dans nos costumes, nous aurons vraiment l'air bizarre. (. . .) On chausse des sortes de mocassins confectionnés dans la même matière. Alors, on peut *rentrer* dans le secteur stérile. Avant d'atteindre les chambres, il faut passer par un nouveau sas. On doit se laver à nouveau les mains, fixer sur son nez et sa bouche un masque chirurgical. Alors, on peut *rentrer* dans la chambre.

(FOREST, P. 1997, *L'enfant éternel* : 334-335)

以上のことを踏まえて、*rentrer* を用いる際に発話者が行う発話操作について次の仮説を提案する。

- (5) a. 発話者は Z に視点を置き、X-Z について、あらかじめ何らかの評価をしている。そして、移動前のあり方を「仮のあり方」として捉えている。
- b. X が Z に移ることにより、評価を行ったあり方が実現することを表すために RE を *rentrer* に付加する。

次章では、*rentrer* の実例を分析し、発話者が行う評価にどのようなものがあるかを明らかにするとともに (5) の仮説の妥当性を確認する。

3. *rentrer* の場合

冒頭で見たように、*rentrer* は (6 a) のように X が生活や活動の拠点となる Z に戻ることを表す他に、(6 b) のように X が Z に入ることや (6 c) のように X が Z に納まること、さらに、(6 d) のように X が Z に衝突することを表す場合がある。

- (6) a. Six jours par semaine, il travaille de 8 à 20 heures, *rentre* à la maison (. . .). (*Le Point*, 1999/9/5)
- b. Ici, la femme qui *rentre* dans la boutique de luxe ne vient pas pour regarder, mais pour acheter. (= 1, 3 a)

c. Il (=le livre de l'été) doit être petit, léger, et *rentrer* dans le sac de plage, évidemment. (*Le Progrès*, 2010/7/25)

d. Sa voiture *est rentrée* dans un arbre. (=2)

以下では、*rentrer* の代表的な 4 つの用法（「戻る」、「入る」、「納まる」、「衝突する」）を取り上げ、全ての用法に共通する RE の機能を明らかにする。その際、必要に応じて元の動詞 *entrer* との比較対照を行う。

3.1. 「戻る」

従来の指摘にあるように、*rentrer* の Z は母国や自宅または会社や学校など生活や活動の拠点となる場所（*pays, maison, chambre, appartement, hôtel, bureau* など）を表す。*entrer* もそうした Z を従えることもあるが、状況・文脈を見ると、X の Z への移動を伝えることが発話の主眼であることがわかる。例えば (7) のような、X の様々な場所への移動を描写する中で家や診察室 (Z) に移ることを表す際に *rentrer* が用いられている。

(7) a. Dès qu'elle *entra* chez elle, Inès jeta son manteau sur un fauteuil, se précipita vers sa chambre, disparut quelques instants, et sans avoir prononcé un seul mot, revint se jeter nue sur le lit non défait, (. . .).

(DROIT, M. 1964, *Le Retour* : 324)

b. (発話者は病院の待合室で医者 (tu) の様子を見ている)

(. . .) lorsque tu arrives, à trois heures, trois heures et demie, nous te regardons mi-inquiets, mi-rigolards, t'escrimer avec tes clés et tes deux sacs, (. . .) Tu fronces les sourcils, tu *entres* dans ton bureau, tu claques la porte derrière toi, et longtemps après, tu ressors, et tu dis :
Bon, allons-y deux par deux,

(WINCKLER, M. 1998, *La maladie de Sachs* : 27)

一方、*rentrer* を用いる場合、発話者はあらかじめ X-Z について「元の・本来のあり方」という評価をしている。例えば、(8 a) のような一旦離れた食堂 (Z) に食事客の発話者達 (X) が移ることや (8 b) のような自宅 (Z) に男性

(X) が移ること、さらに、(8c) のような活動の拠点であるテニスコート (Z) にテニス選手 (X) が移ることを表す例が挙げられる。どの例についても、発話者は、移動前のあり方 (「食事客が食堂の外にいること」, 「男性が仕事先にいること」, 「テニス選手がテニスコートの外にいること」) を「仮のあり方」と捉えている。そして X が Z に移ることで「元の・本来のあり方」(「食事客が食堂にいること」, 「男性が自宅にいること」, 「テニス選手がテニスコートにいること」) が実現すること表すために RE を *entrer* に付加するのである。

- (8) a. (外の景色を見るために食堂からベランダに出た後)

Nous *rentrâmes* dans la salle du restaurant et Heurteur ferma la porte-fenêtre. (MODIANO, P. 1978, *Rue des Boutiques Obscures* : 20)

- b. Six jours par semaine, il travaille de 8 à 20 heures, *rentre* à la maison (...). (=6 a)

- c. Jeudi, après sa belle victoire sur Todd Woodbridge, Hicham Arazi avait expliqué qu'il lisait la poésie de Jacques Prévert avant de *rentrer* sur le court. (*Le Monde*, 1997/6/4)

ところで、ROBERT (2002) によると、*rentrer* が自宅や母国を表す Z を従える場合、Z に移動した後は X が Z の外に移動しないことを含意するようである。次の (9a) では X が自宅 (Z) に戻った後、外出しなかったことを、(9b) では X が母国 (Z) に本帰国したことを、それぞれ含意する。それは、発話者があらかじめ X-Z を「本来のあり方」として評価し、そのあり方が X の Z への移動によって実現することを *rentrer* が表すためである。

- (9) a. Hier soir, il *est rentré* tard (il n'est plus ressorti).

- b. Il *est rentré* dans son pays (définitivement). (ROBERT 2002 : 29)

また、移動前のあり方を「仮のあり方」として発話者が捉えているという考えを支持する指摘として JALENQUES (2002) がある。この論考では、一旦離れた Z に X が移ることを表す (10a) と (10b) の差異について次のような分析が行われている。

(10) a. Lundi prochain je *rentre* à Londres.

b. Lundi prochain je *suis de nouveau* à Londres. (JALENQUES 2002 : 86)

(10) はビジネスマンが翌週にロンドン (Z) に再びいることを秘書に伝える発話である。両者の違いは「ロンドンにいないこと」という移動前のあり方への評価にあると JALENQUES は指摘する。(10 a) では発話者は「ロンドンにいないこと」を一時的なあり方 (*état transitoire*) として評価している。一方、(10 b) では「ロンドンにいないこと」は一時的なあり方ではなく、むしろ「ロンドンにいること」が一時的なあり方なのである。

以上のことから、*rentrer* を用いる場合、発話者はあらかじめ X-Z を「元の・本来のあり方」として評価しており、移動前のあり方を「仮のあり方」として捉えていることが確認できた。そして、発話者が視点を置く Z に X が移ることで「元の・本来のあり方」が実現することを表すために RE を *entrer* に付加するのである。

3.2. 「入る」

実例を観察すると、*rentrer* は X が Z に移る目的が顕在化している状況・文脈で多く用いられていることがわかる。*entrer* についても、そうした状況・文脈で用いられている例が認められる。次の (11) ではゴミ箱を取るためや強盗目的で X が Z に移ったという話であり、X の様々な場所への移動を描写する中で Z に移ることを *entrer* で表している。

(11) a. Boris et moi refermons la porte vitrée du salon, *entrons* dans la cuisine pour prendre la boîte à ordures, sortons sur le palier, et descendons les trois étages jusqu'au cagibi où sont entreposées les grandes poubelles de l'immeuble.

(SCHREIBER, B. 1996, *Un silence d'environ une demi-heure* : 15)

b. Du côté de McDonald's, selon la direction qui était présente au moment des faits, l'agresseur présumé *est entré* dans le restaurant, est allé aux toilettes et est ressorti, sans rien avoir consommé, vers le parking.

(*Le Maine Libre*, 2011/6/5)

一方, *rentrer* の例として (12) がある。(12 a) では買い物をするために客 (X) が店 (Z) に移ることを, (12 b) では被害報告のために被害者 (X) が店や銀行 (Z) に移ることを, それぞれ表している。また (12 c) は窮地に陥った友人達を助けるべく話し合うために, 友人達 (X) に発話者の自宅 (Z) へ移るよう促しており, (12 d) は追手に見つからずに弟と話をするために, 弟 (X) に中学校 (Z) へ移るよう指示している。

(12) a. Ici, la femme qui *rentre* dans la boutique de luxe ne vient pas pour regarder, mais pour acheter. (= 1, 3 a)

b. (警察が詐欺への注意喚起の中で)

Il faut refuser tout échange ou toute transaction hasardeuse. Si on est abordé en ville, il faut *rentrer* dans un magasin ou une banque et signaler le problème et faire appeler le 17.

(*La Nouvelle République du Centre Ouest*, 2010/5/8)

c. Nicolas : Ben qu'est-ce qui vous est arrivé?

Fred : On s'est fait virer de l'appart.

Nicolas : Ah les salauds qu'est-ce qu'ils vous ont mis? Bon, ben *rentrez*. Faut porter plainte! Ils n'ont pas le droit de vous frapper comme ça. (= 3 b)

d. (主人公は指名手配中の兄に偶然再会する。兄は自分の方を見ずに前進するように言い, 中学校の前で次のように指示する。)

Arrête-toi! *Rentre* dans cet immeuble!

(GUENASSIA, J.-M. 2009, *Le Club des Incorrigibles Optimistes* : 344)

どの例についても, 発話者はあらかじめ X-Z (「客が店にいること」, 「被害者が(被害の報告先の)店や銀行にいること」, 「友人達が(相談相手の)発話者の自宅にいること」, 「弟が(追っ手に見つからない)中学校にいること」)を目的達成に向けて「妥当なあり方」として評価している。そして, 移動前のあり方(「客が店の外にいること」, 「被害者が被害の報告先の外にいること」,

「友人達が発話者の自宅の外にいること」、「弟が中学校の外にいること」を「仮のあり方」として発話者は捉えている。そこで、X が Z に移ることにより「妥当なあり方」が実現することを表すために RE を *rentrer* に付加するのである。

ところで、小熊 (1991) は (12) と同種の *rentrer* を含んだ (13) について「容疑者を追う警察を連想させる」や「入ってしまったらなかなか出てこない」というインフォーマントの指摘を挙げている⁽⁷⁾。

(13) *Ils sont rentrés dans un café.* (小熊 1991 : 128)

「警察 (X) が (容疑者のいる) カフェ (Z) にいること」は警察がカフェで捜査中であることであり、それは容疑者追跡のために「妥当なあり方」である。そうしたあり方が X の Z への移動によって実現することを *rentrer* が表すことから「入ってしまったらなかなか出てこない」といった含みを伴うことになるのだろう。

また、冒頭で見たように、*rentrer* が「思い切って、無理に入ること」を含意する場合がある。例えば (14) を挙げることができる。状況・文脈によっては X-Z が「憚られる」または「禁じられる」といった印象を与える場合がある。前者の例として (14 a) の「男性客 (X) が婦人下着の店 (Z) にいること」や (14 b) の「女性競技者 (X) が男性競技者の大勢いる会場 (Z) にいること」が挙げられ、後者の例として (14 c) の「泥酔客 (X) がバー (Z) にいること」や (14 d) の「窃盗犯 (X) が犯行現場 (Z) にいること」が挙げられる。X が Z に移り、上のような印象を与える X-Z を実現させることから、辞書の記述にあるような表現効果が生じるのである。

(14) a. *Parce que pour les hommes, ça ne fait pas viril de rentrer dans un magasin de lingerie.* (*La Montagne*, 2015/2/14)

b. *Ce n'est pas forcément facile pour une femme de rentrer dans une pièce où une centaine de joueurs sont présents.* (*Sud Ouest*, 2010/5/8)

c. *Dimanche vers 2 h 30, un groupe de personnes en état d'alcoolémie a tenté de rentrer dans un bar situé quai de la Fosse. Au vu de leur état,*

l'entrée leur a été refusée par les responsables de l'établissement.

(*Ouest France*, 2010/11/22)

d. - Vous reconnaissez avoir volé certains objets, non? Vous êtes rentré comment chez madame C?

- J'ai vu la fenêtre ouverte au rez-de-chaussée, je suis rentré dans le salon . . . (*Le Point*, 2011/3/14)

しかし (12) や (13) と同様に, (14) のどの例についても, 発話者はあらかじめ X-Z を目的達成 (商品の購入, 参戦, 飲酒, 窃盗) に向けて「妥当なあり方」として評価し, 移動前のあり方 (「客が店の外にいること」, 「競技者が競技会場の外にいること」, 「泥酔客が店の外にいること」, 「窃盗犯が犯行現場の外にいること」) を「仮のあり方」として捉えている。そして, 発話者が視点を置く Z に X が移ることにより「妥当なあり方」が実現することを表すために RE を *entrer* に付加するのである。

3.3. 「納まる」

上で見たように, *entrer* を用いる場合は X の Z への移動を伝えることが発話の主眼である。例えば (15 a) のように Emma (X) の様々な行為を描写する中で, ドレス (Z) に納まったことを表す例や, (15 b) のように X の規模を話題する中で, 例えばリュックサックや鞆 (Z) に収まる規模であることを述べる例が挙げられる。

(15) a. Emma fit sa toilette avec la conscience méticuleuse d'une actrice à son début. Elle disposa ses cheveux d'après les recommandations du coiffeur, et elle *entra* dans sa robe de barège, étalée sur le lit.

(*ABU 19-20 fr*)

b. Le petit appareil, qui ressemble à un hélicoptère-jouet, pèse environ 1, 3 kilogrammes et pourrait *entrer* dans un sac à dos ou une valise.

(*La Presse Canadienne*, 2011/8/24)

一方, *rentrer* を用いる場合は, 発話者はあらかじめ X-Z を「本来のあり方」

や「妥当なあり方」として評価している。例えば (16 a) の「モデル (X) が衣装 (Z) に納まっていること」は「本来のあり方」である。また (16 b) の発話者は、夏に物を持ち運ぶ手段としてサマーバッグを想定している。そこで、夏に本が読まれるために「本 (X) がサマーバッグ (Z) に納まっていること」を「妥当なあり方」として評価している。そして (16 c) の SIM カードは、本来、携帯電話に挿して利用するものである。そこで「SIM カード (X) が携帯電話 (Z) に納まっていること」は「本来のあり方」である。さらに (16 d) の発話者は、小切手帳が札やカードのように財布に納まらないため不便だと述べている。そのことから、支払で利用するものの納まるべき場所は財布であると捉えていることがわかる。そこで、支払いのために「小切手 (X) が財布 (Z) に納まっていること」を「妥当なあり方」として評価している。

(16) a. Les vêtements des défilés sont taillés très petits, en 38 voire en 36. Mais les robes bougent beaucoup mieux sur des filles très minces. Un corps longiligne sublime les vêtements. Des mannequins se privent pour *rentrer* dans les vêtements. (*Le Parisien*, 2007/1/2)

b. D'un point de vue pratique, le livre de l'été est le plus souvent un livre de poche. Il doit être petit, léger, et *rentrer* dans le sac de plage, évidemment. (*Le Progrès*, 2010/7/25)

c. (2008 年に渡米した当時について語っている)

La ligne ADSL n'était pas encore en service et les puces américaines ne *rentraient* pas dans son portable.

(REVERDY, T.-B. 2015, *Il était une ville* : 9)

d. Je me sers rarement du chéquier, ce n'est vraiment pas pratique car ça ne *rentre* pas dans mon porte-monnaie. (*La Montagne*, 2013/2/1)

3.4. 「衝突する」

実例を見ると、*rentrer* が衝突することを表す例がいくつか認められる⁽⁸⁾。そ

の例が (17) である。

(17) a. A bord d'une voiture volée et sans permis de conduire, un Palestinien de 22 ans a pris la poudre d'escampette mercredi à la rue de Lausanne. Lorsque les policiers ont enclenché leur gyrophare et le signal «stop police», le jeune homme a arrêté sa voiture, après *être entré* dans un arbre. Il a continué sa fuite à pied au Jardin botanique, où une autre patrouille a finalement mis la main sur lui. (*La Tribune de Genève*, 2008/1/12)

b. Hier matin à 9 h 15, le conducteur d'une Audi A 4 circulant en direction de Barbezieux, (...) a perdu le contrôle de son véhicule dans le bourg de Salles-d'Angles. Après avoir percuté deux voitures en stationnement, qu'il a fortement endommagées, il *est entré* dans un mur.

(*La Charente Libre*, 2010/3/15)

rentrer を用いる場合、発話者は X の移動のみに注目している。(17 a) では、犯人が逃げ出した後の移動を描写する話の流れの中で、車で木にぶつかったことを述べている。(17 b) も同様に、Audi に乗ったドライバーがあちこちぶつかった後、壁にぶつかったことを述べている⁽⁷⁾。

一方、インフォーマントは⁽⁸⁾、衝突を表す場合は (18) のように *rentrer* を用いるほうが自然であると判断する。また、*rentrer* を用いる場合、X が Z にはまり込み、再起不能な状態にあることを発話者はあらかじめ思い浮かべると指摘する。さらに、小熊は (18) のような *rentrer* について「これ以上できなくなったという意味での「目標 (終着点)」を持つ動作が「完遂」されたことを表す」と指摘している。

(18) a. Je devais conduire une machine. Mais dès le premier jour, je *suis rentré* dans un arbre et je l'ai cassée. (*La Charente Libre*, 2009/8/3)

b. Près du portail, à l'intérieur de la cour, il y avait une voiture qui *était rentrée* dans le mur, et elle avait en partie brûlé, mais à présent c'était éteint. (MANCHETTE, J.-P. 1976, *Que d'os!* : 215)

これらの指摘から、発話者は X-Z (「車が木や壁にはまり込んでいること」)

を最終的な結果を表す「極限のあり方」として評価していると考えられる。そして、移動可能であった移動前のあり方を「仮のあり方」として捉え、X が Z に移ることにより「極限のあり方」が実現することを表すために、RE を *entrer* に付加するのである。

4. おわりに

本稿では *rentrer* の様々な用法に共通する RE の機能を探った。

まず、第2章で、佐々木 (2016 b) の指摘を踏まえ、発話者が Z に視点を置き、X が Z に移ることを表す場合は *rentrer* を用いることを指摘した。実際、本研究で挙げた Z は視点が置かれやすい場所であることに気付く：(A) X の本拠地、(B) 目的達成に向けて X がいる・ある妥当な場所、(C) X が極限状態に達した場所。

次に、第3章で、RE を *entrer* に付加する際に、X-Z に発話者があらかじめ何らかの評価を行っていることを確認し、評価には「元の・本来の」や「妥当な」または「極限の」があることを指摘した。

そして、RE を *entrer* に付加する際に、発話者は次の発話操作を行う。

- (19) a. 発話者は Z に視点を置き、X-Z を「元の・本来のあり方」や「妥当なあり方」または「極限のあり方」としてあらかじめ評価している。そして、移動前のあり方を「仮のあり方」として捉えている。
- b. X が Z に移ることにより「元の・本来のあり方」や「妥当なあり方」または「極限のあり方」が実現することを表すために RE を *entrer* に付加する。

最後に、*entrer* と *rentrer* の X の移動を図にすると次のように表すことができる。矢印は X の移動を表し、太枠の四角は発話者が視点を置いていることを表す。

(20)

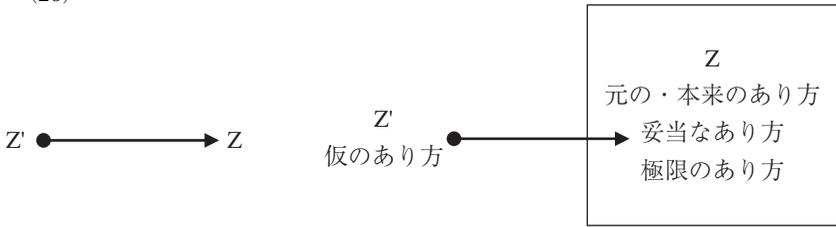


図1 entrer

図2 rentrer

今後、様々な RE が付加された移動動詞について考察し、全ての移動動詞について認め得る RE の機能を解明することを目指す。

注

- (1) 例えば、泉 (1987, 1994) は *rentrer* の Z は X の「本拠」であると指摘する。「本拠」とは「主体が（一時的に離れることがあっても）本来存在するべき所」である。そして、フランス語で *rentrer* の到着地となる場所は「住んでいるところ (maison, dortoir, caserne, hôtel など), 故郷, 国ぐらいなものである (泉 1987: 35)」と指摘している。
- (2) 映画のシナリオ, 演劇の脚本, 小説, 新聞記事, Web サイトの記述を使用した。
- (3) 例えば GREVISSE (2007) は次のように述べている：

Le langage soigné évitera de substituer *rentrer dans* à *entrer dans* lorsque le sujet désigne une personne et que le sens est simplement «pénétrer dans» ou «devenir membre de». Cet emploi, fréquent dans la langue de tous les jours, s'introduit pourtant dans la littérature. (GREVISSE 2007: 186)
- (4) re, r, ré を代表し、以下 RE と記す。
- (5) 他動詞構文の例として X が事行対象を Z に移すことを表す次の例が挙げられる。

Clémence s'est mise au volant, c'est elle qui *rentre* la voiture dans le clos qui sert de parking le long du mur d'enceinte (...). (GARAT, A.-M. 1987, *L'Insomniaque*: 43)
- (6) 以下では、状態, 局面, 状況, 位置などを括り「あり方」と呼ぶ。
- (7) 小熊は *entrer* を用いる発話是非文であるという判断を示している。

Ils allaient trop vite, ils *sont rentrés/ *entrés* dans un arbre. (小熊 1991: 128)
- (8) インフォーマント調査には Olivier BIRMANN 先生 (関西学院大学) にご協力いただき、多くの示唆を得ることができた。

参考文献

- AMIOT, D. (2002), "Re-, préfixe aspectuel", *Cahiers Chronos* 10, 1-20.
- DOLBEC, J. (1988), *La préfixation en français. Essais de théorie psychosystématique et application au préfixe re-*, Thèse de Doctorat, Université Paris IV.
- FRANCKEL, J.-J. (1989), *Études de quelques marqueurs aspectuels du français*, Genève, Droz.
- (1997), "Approche de l'identité d'un préverbe à travers l'analyse des variations sémantiques des unités préverbes", *French Language Studies* 7, 47-68.
- GREVISSE, M. (2007), *Le Bon usage Grammaire Française*, 14^{ème} édition, Bruxelles, Duculot.
- 石野好一 (1980) 「動詞 rentrer, revenir 類の意味分析－意義素と discours－」『フランス語学研究』14, 25-39.
- 泉邦寿 (1987) 「動詞モデル／カエルとその対応語－日仏語彙の対象研究」『日本語学』6-10, 31-39.
- (1994) 「接頭辞 re とその対応形をめぐって－何を言語化するかについてのノート－」『日仏語対照研究論集』(日仏語対照研究会), 246-260.
- JALENQUES, P. (2001), "Quand la diachronie renvoie à la synchronie : étude des emplois idiomatiques du préfixe re- en français (*renier, remarquer, regarder*, etc.)", *Recherches linguistiques de Vincennes* 30, 39-61.
- (2002), "Étude sémantique du préfixe RE en français contemporain : à propos de plusieurs débats actuels en morphologie dérivationnelle", *Langue française* 133, 74-90
- 小熊和郎 (1991) 「接頭辞 re-と発話操作」『西南学院大学フランス語フランス文学論集』27 (西南学院大学), 111-138.
- ROBERT, J.-M. (2002), *Difficultés du français. Des clés pratiques pour éviter et expliquer les pièges du français*, Paris, Hachette.
- 佐々木香理 (2015) 「接頭辞 RE の機能－ rapprocher の場合－」『年報・フランス研究』49 (関西学院大学フランス学会), 17-31.
- (2016 a) 「接頭辞 RE の機能－認知動詞の場合－」春木仁孝, 東郷雄二編『フランス語学の最前線 4』ひつじ書房, 127-163.
- (2016 b) 「接頭辞 RE の機能－ ramener/ rapporter と remmener/ remporter の場合－」日本フランス語学会第 306 回例会発表.

(文学部非常勤講師)